



乙島っ子

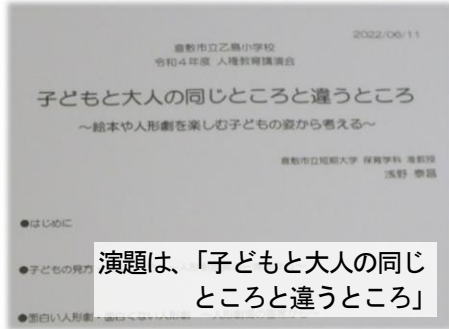
令和4年度 NO. 12

令和4年 6月14日 倉敷市立乙島小学校

見方を
変えると…

見方が変わる…人権教育講演会

6月11日(土)、作陽大学勤務時代は学生さんを連れて本校で読み聞かせをしてくださり、今年から市立短大に異動された浅野 泰昌(やすまさ)先生をお招きし、PTA役員を対象とした人権教育講演会が行われました。

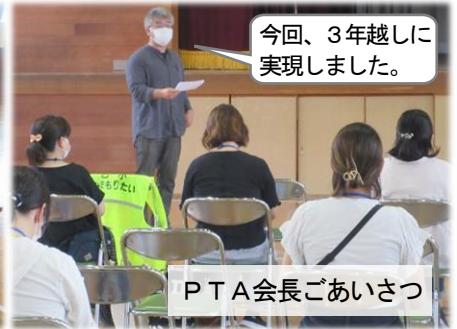


演題は、「子どもと大人の同じところと違うところ」



受付にて…

感染防止対策



今回、3年越しに実現しました。

PTA会長ごあいさつ

「子どもの見方・大人の見方 ～人形劇鑑賞の一場面から～」→左の写真のように心を同調させながら鑑賞している子ども…。こうした「子ども」に対し、「大人」は、「だまって、行儀よく見なさい」と叱っていないか…。



「行儀よく！」って叱っていませんか？



ライブ会場

盛り上がる大人…

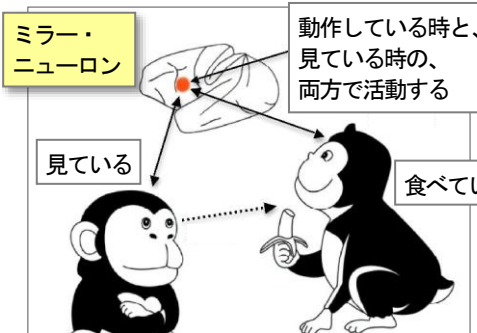
まさしく「大人の中の子ども」の姿！



母の歌う「大人の歌」に涙する赤ちゃん！

子どもの中にも「大人」が！

「子ども」も「大人」も、根っこは同じ一人の人間！互いの人格を認め合い、尊重し合える関係性が重要である。左の図、「ミラー・ニューロン」とは、霊長類など高等動物の脳内で、自ら行動する時と他の個体が行動するのを見ている時の両方で活動する神経細胞のことで、他の個体の行動を見て、まるで自身が同じ行動をとっているかのように「鏡」のような反応をすることから名付けられた。模倣能力、相手の立場に立って考える能力に関係する。

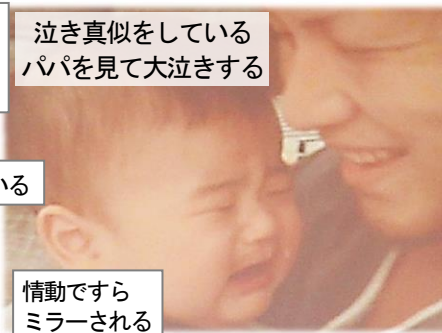


ミラー・ニューロン

動作している時と、見ている時の、両方で活動する

見ている

食べている



泣き真似をしている
パパを見て大泣きする

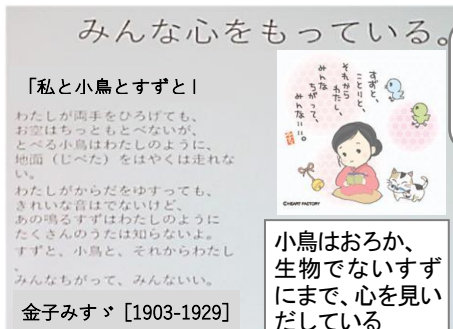
情動ですら
ミラーされる



ヒトからイヌにまでも情動の模倣が行われる

うれしいよ！

ウウウウウ
(うれしいよ)



みんな心をもっている。

「私と小鳥とすすと」

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないか、とべる小鳥はわたしのようには、地面(じべた)をはやくは走れない。わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、あの鳴るすすはわたしのようになくさんのうたは知らないよ。すすと、小鳥と、それからわたしみんなちがって、みんないい。

金子みすゞ [1903-1929]



小鳥はおろか、生物でないすすにまで、心を見いだしている



「桃太郎」も実は多様です。芥川龍之介も書いています

浅野 泰昌 先生



参加者は、38名

「多様性」について学びを深めました